

佐々木 若葉「翻訳機に負けないために」奨励賞受賞

私は今年の1月からニュージーランドで留学をしています。留学生活は大変なことも多いですが、充実した日々を送っています。そんな中、ある記事をインターネットで見つけました。その記事には、翻訳AIの優れた技術で世界中の言語をいとも簡単に翻訳できると書いてありました。その時、今このようにわざわざ留学をして英語の勉強に時間をかけていても、翻訳機には簡単に負けてしまうのではないかと考えました。そう考えると、今この時間は無駄になってしまっているのではないかと思いました。しかし、今実際に留学生活を送る中で自分の言葉で伝えるということの大切さに気付かされました。自分が身振り手振りで会話をしようとしたり、辞書を使い自分が一番言いたいことに最も近い表現を見つけ出し実際に使ってみたりすることで人とよりつながることができることこれまでの5か月間で実感しています自分が実際に伝えたい細かいニュアンスや熱をAIは訳せるのでしょうか。そしてこれまでの留学生活の中で、知らない土地で知らない人々と実際に自分の言葉で話すことにより感じられることがたくさんあると学びました。今私たちにできることは、AIの優れた技術を使用しつつも自分の言葉で話そうと努力する姿勢を持ち続けることではないでしょうか。人工知能に頼るのではなく、お互いのスキルを高め合いAIと向き合えば世界がより豊かになっていくのではないかと私は考えます。